

第4回穴粟市地域福祉のつどい宣言

合併から8年目を迎え、穴粟市社協では、平成27年度までの地域福祉活動の方針と社協の強化方策をまとめた「第2次穴粟市地域福祉推進計画」を策定し、現在それに基づいた活動や事業を推進しています。

本日、「第4回穴粟市地域福祉のつどい」を開催し、穴粟市の地域福祉の取り組みや現状を報告しながら、これからの穴粟市での地域福祉活動のあり方について議論を行いました。

今、我が国は、生活保護受給者が214万人を超え、孤立や生活困窮など生活課題が深刻化しています。少子高齢化が進む穴粟市においては、これらの問題に加え、地域での人と人とのつながりづくりや地域基盤の強化、生活公共交通の維持など、住み慣れた地域で暮らし続けていくための取り組みをどのようなカタチにしていくかが課題となっています。

そのためには、まず、小地域から福祉でつながる取り組みを積極的に進めていくことが必要であることが今日の議論で確認されました。

よって、その中身を「第4回穴粟市地域福祉のつどい宣言」として、次の点にまとめ、市民みんなで取り組むことを呼びかけます。

1. 「自治会福祉連絡会」をすべての自治会で結成し、福祉でつながる取り組みを進めましょう。
2. 地域や近隣のつながりをカタチあるものにするために、ささえあい、たすけあいの気持ちが生きる「ご近所ボランティア活動」を始めましょう。
3. 市内のボランティア、福祉NPO団体、そして福祉・保健・医療関係者は、地域福祉推進のために手をつなぎましょう。
4. 地域福祉を進める活動財源をみんなで創り出しましょう。

平成25年2月10日

第4回穴粟市地域福祉のつどい